

2011年3月期 第2四半期 決算説明資料

1 連結業績について

1) 連結業績概要	…P. 3
2) 売上高の変動要因	…P. 4
3) 営業利益の変動要因	…P. 5
4) セグメント別売上高・営業利益	…P. 6
5) 地域別売上高	…P. 12
6) 設備投資他	…P. 13
7) 損益計算書	…P. 14

3) 流通・交通市場	…P. 19
4) 遊技市場	…P. 20

3 2011年3月期 業績予想

1) 2011年3月期 業績予想	…P. 22
2) セグメント別売上高	…P. 23
3) 四半期毎の売上高	…P. 24

2 市場環境と施策について

1) 海外市場	…P. 16
2) 金融市場	…P. 18

4 その他の情報

1) 資本政策について	…P. 26
2) 円高の影響と対策	…P. 27

当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。

当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。



2011年3月期 第2四半期累計期間

連結業績について

1) 連結業績概要	…P. 3
2) 売上高の変動要因	…P. 4
3) 営業利益の変動要因	…P. 5
4) セグメント別売上高・営業利益	…P. 6
5) 地域別売上高	…P. 12
6) 設備投資他	…P. 13
7) 損益計算書	…P. 14

連結業績概要 前年同期比

売上高

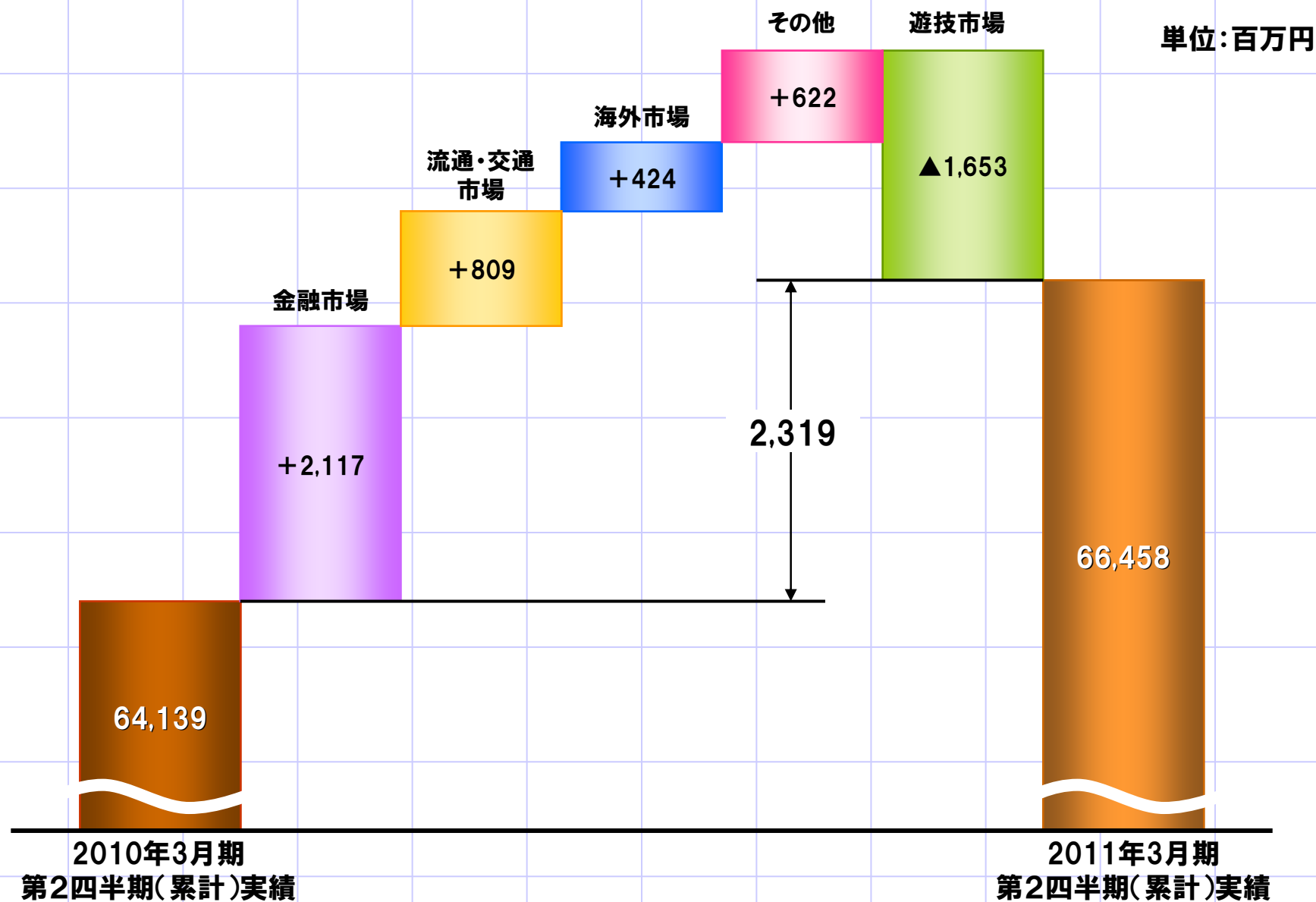
遊技市場向け機器の販売は低調であったものの、金融市場をはじめ、流通・交通市場、海外市場での販売が堅調に推移し、前年同期に比べ増加。

利益

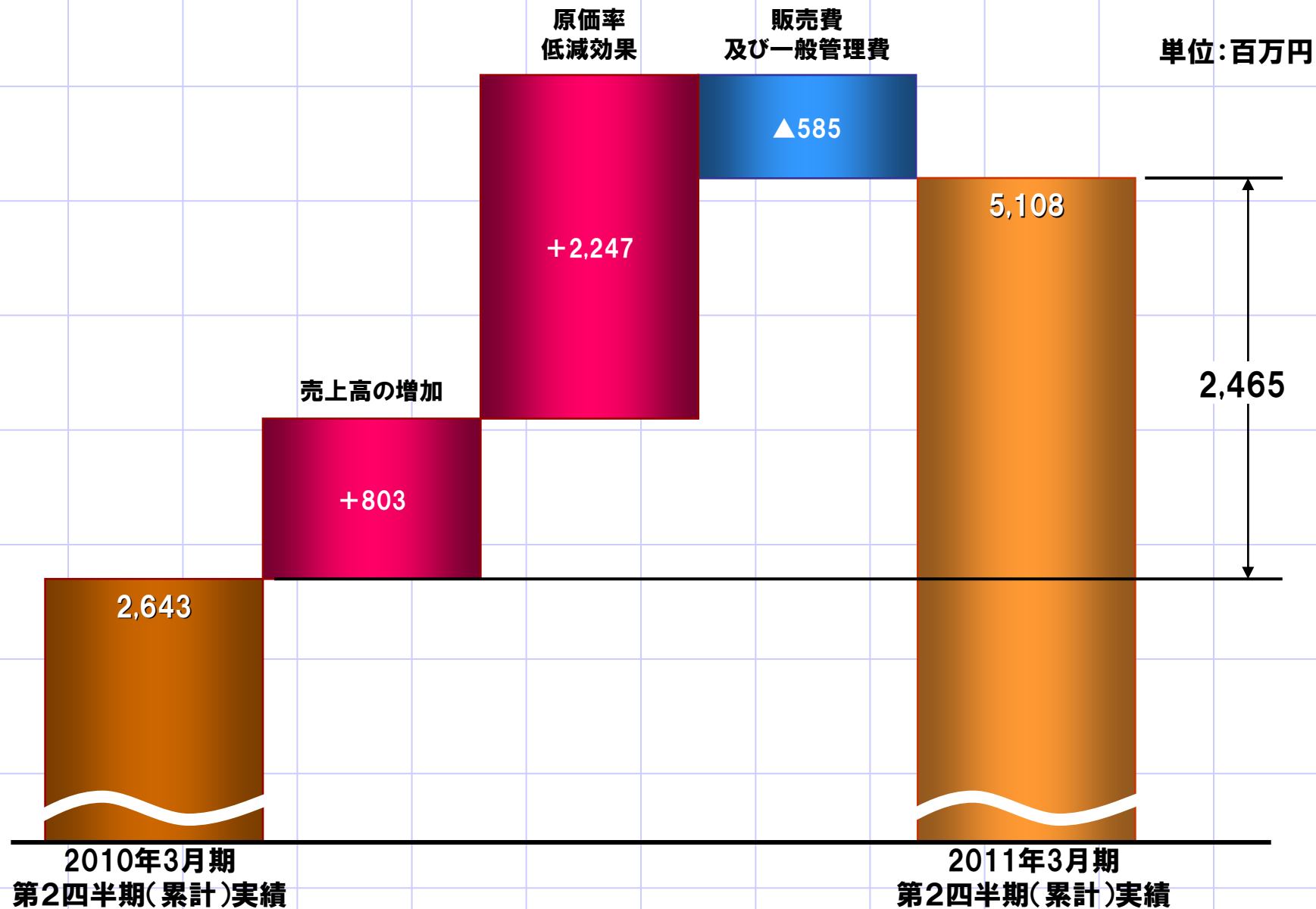
海外調達等のコスト低減に加え、付加価値の高い製品の販売が好調に推移したことにより、利益率が向上。営業利益・経常利益・四半期純利益ともに前年同期に比べ増加。

(百万円)	2010年3月期 第2四半期 累計期間	2011年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比
売上高	64,139	66,458	+3.6%
うち 保守売上高	15,644 (24.4%)	15,913 (23.9%)	+1.7%
営業利益	2,643 (4.1%)	5,108 (7.7%)	+93.3%
経常利益	3,767 (5.9%)	5,515 (8.3%)	+46.4%
四半期純利益	2,223 (3.5%)	2,935 (4.4%)	+32.0%

売上高の変動要因



営業利益の変動要因



セグメント別売上高・営業利益

2011年3月期 第2四半期 累計期間					
セグメント	売上高	前年実績	計画値	営業利益	計画値
		前年同期比	計画比		計画比
 金融市場	21,579	19,462	20,000	2,178	993
		+10.9%	+ 7.9%		+119.3%
 流通・交通市場	13,571	12,763	13,000	1,180	982
		+ 6.3%	+ 4.4%		+20.2%
 遊技市場	12,166	13,819	12,000	528	454
		▲12.0%	+ 1.4%		+16.3%
 海外市場	13,486	13,062	15,000	1,137	840
		+ 3.2%	▲10.1%		+35.4%
 その他	5,654	5,033	5,000	84	▲270
		+12.3%	+13.1%		+131.5%
自動販売機市場	2,681	3,192	2,500	▲259	▲278
		▲16.0%	+ 7.2%		+ 7.3%
合 計	66,458	64,139	65,000	5,108	3,000
		+ 3.6%	+ 2.2%		+70.3%

※計画比は2010年8月5日時点のもの

●主要商品の販売が堅調

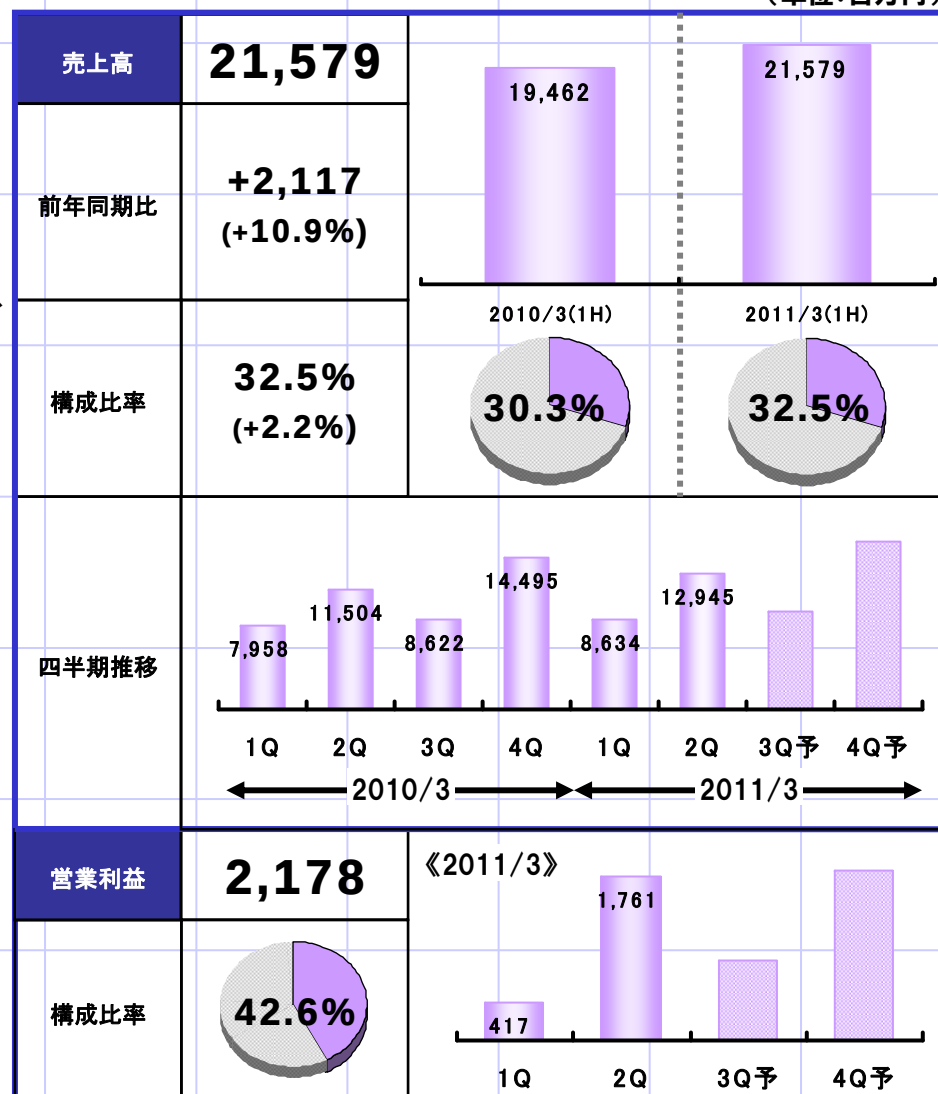
主要製品であるオープン出納システムの販売は、現行機に加え、中小規模店舗向けのコンパクトタイプを投入したことにより、好調に推移。
また、OEM商品である窓口用入出金システムの販売も、更新需要により好調に推移。

主要製品の状況(前年同期比)



※矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

(単位:百万円)



●主要製品の販売が堅調

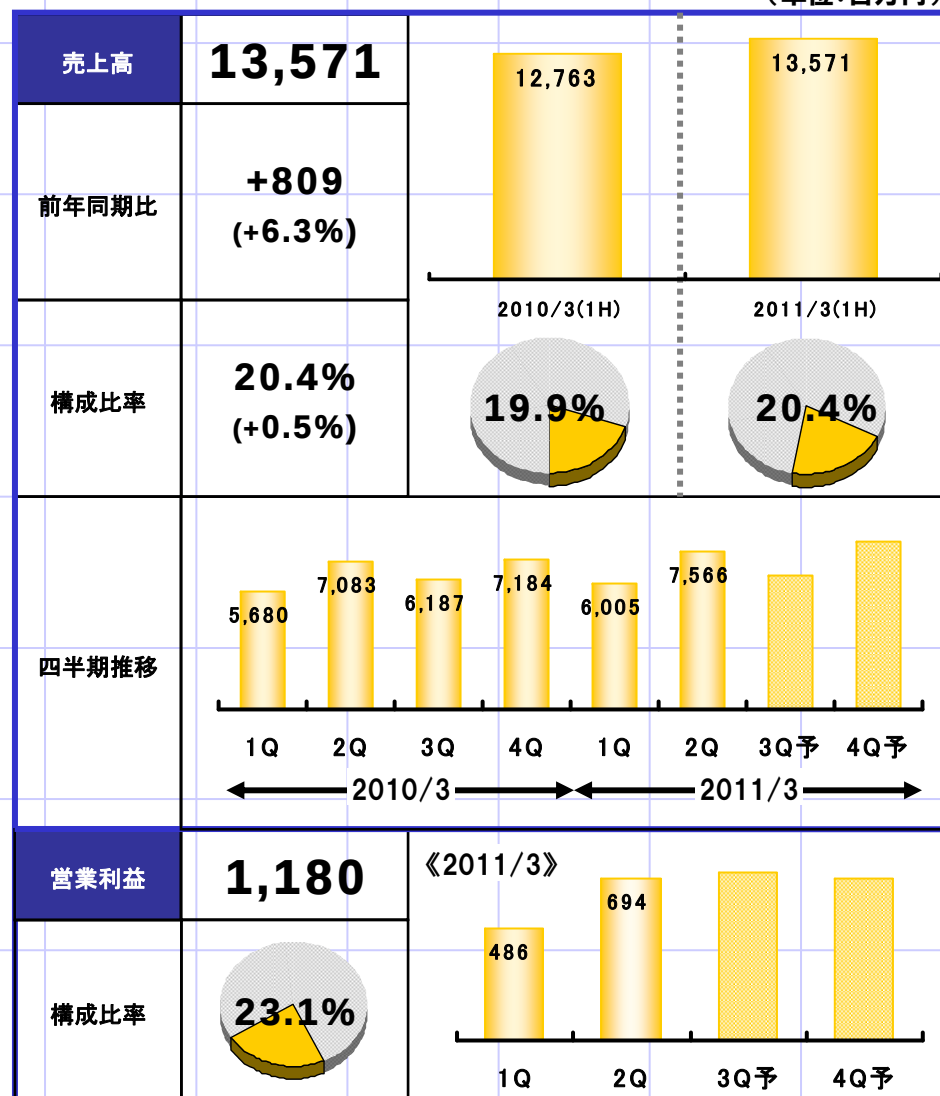
スーパー・専門店で設備投資や新規出店の抑制傾向が続くなど、市場環境は厳しい状況にあったものの、主要製品であるレジつり銭機やOEM商品である店舗入出金機等の拡販に努め、販売は堅調に推移。

主要製品の状況(前年同期比)



※矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

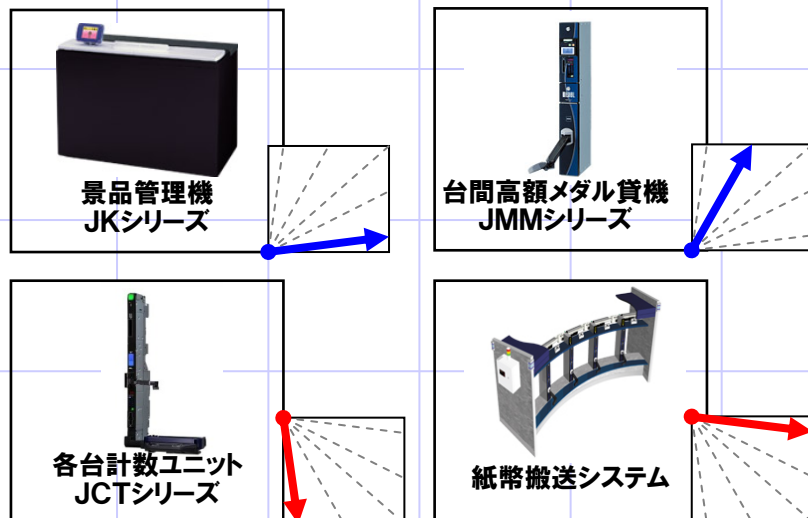
(単位:百万円)



●カードシステムの販売が低調

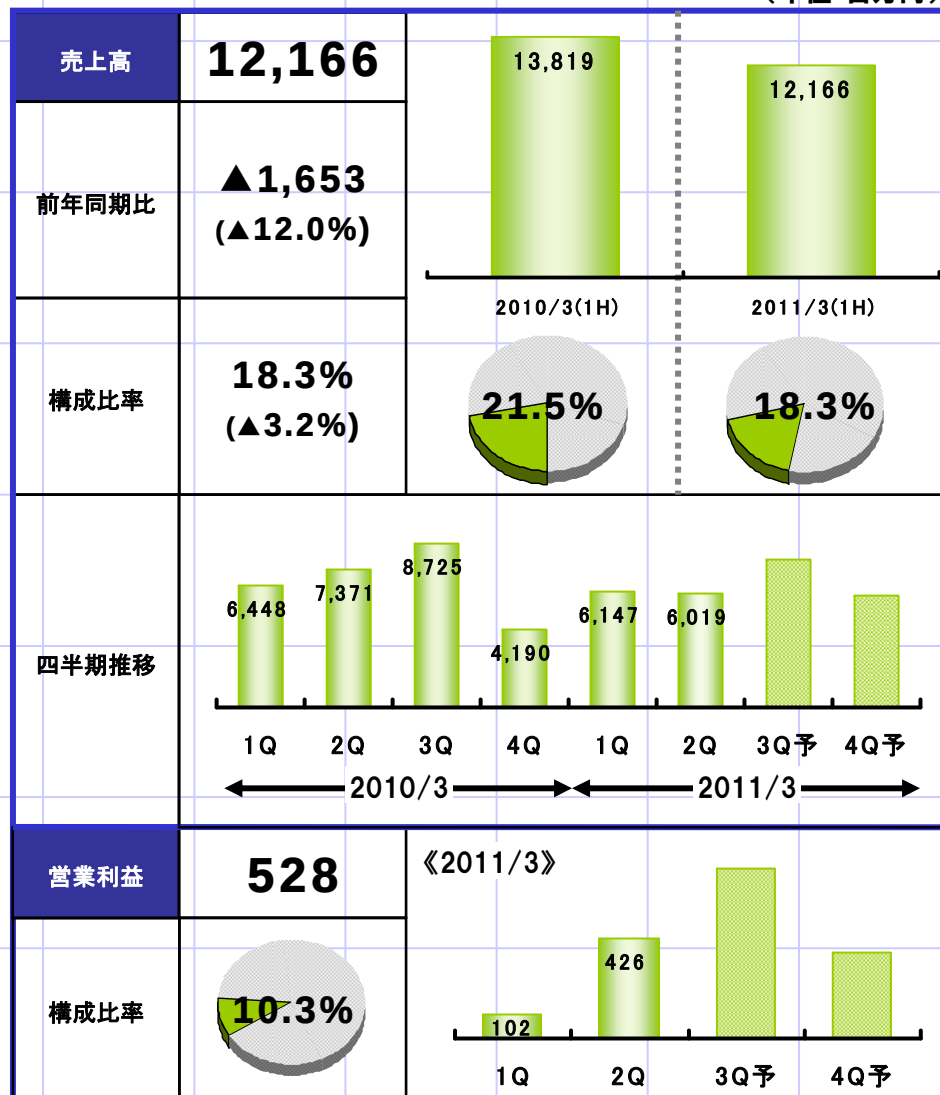
カードシステム等に対する設備投資の抑制傾向に加え、市場競争激化の影響もあり、当市場における販売は低調に推移。

主要製品の状況(前年同期比)



※矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

(単位:百万円)



●アジア地域での販売が堅調

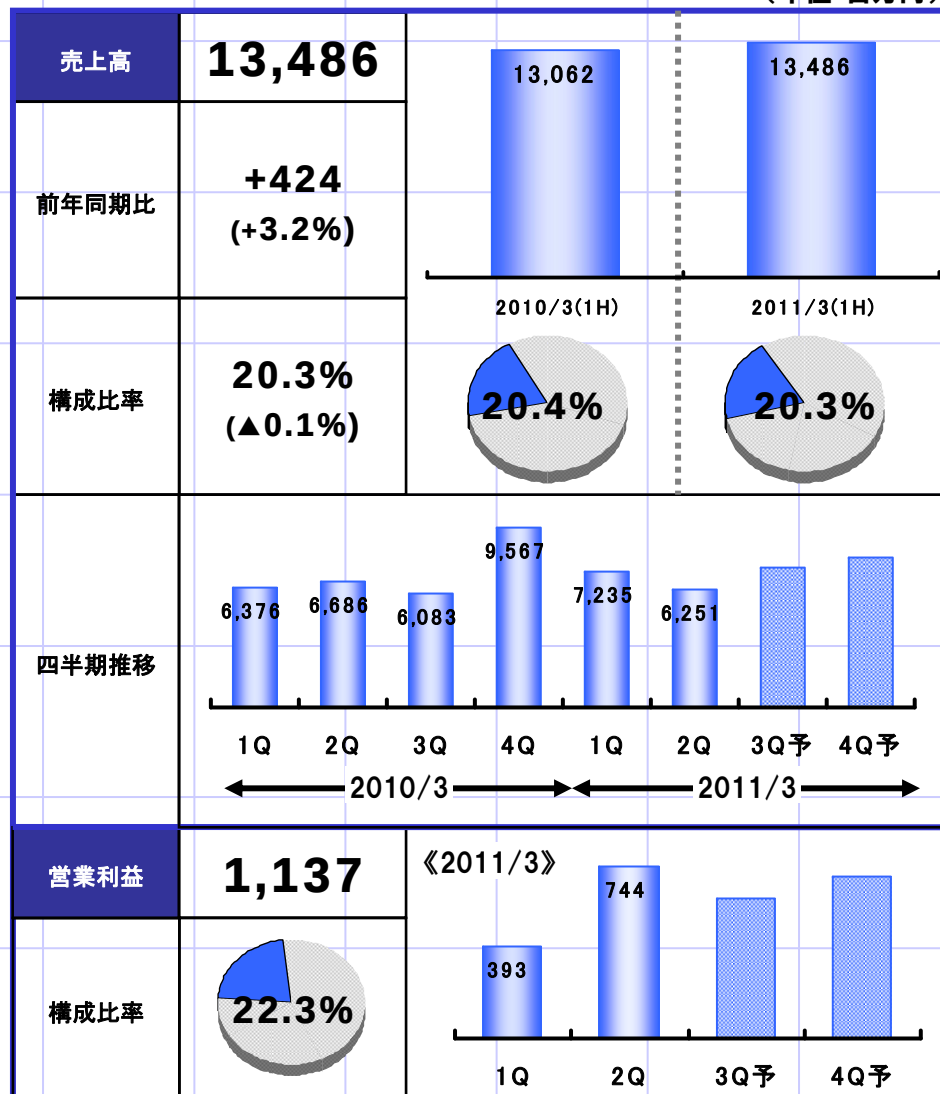
OEM商品であるATM用紙幣入金ユニットの販売やアジアにおける紙幣入金整理機・小型紙幣入金機の販売が好調であったものの、欧米において窓口用紙幣入出金機の販売が低調に推移。

主要製品の状況(前年同期比)



※矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

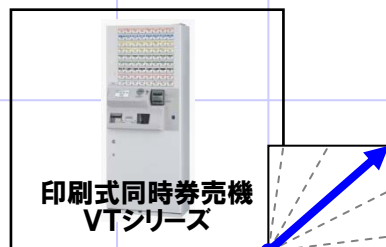
(単位:百万円)



●OEM商品や券売機の販売が堅調

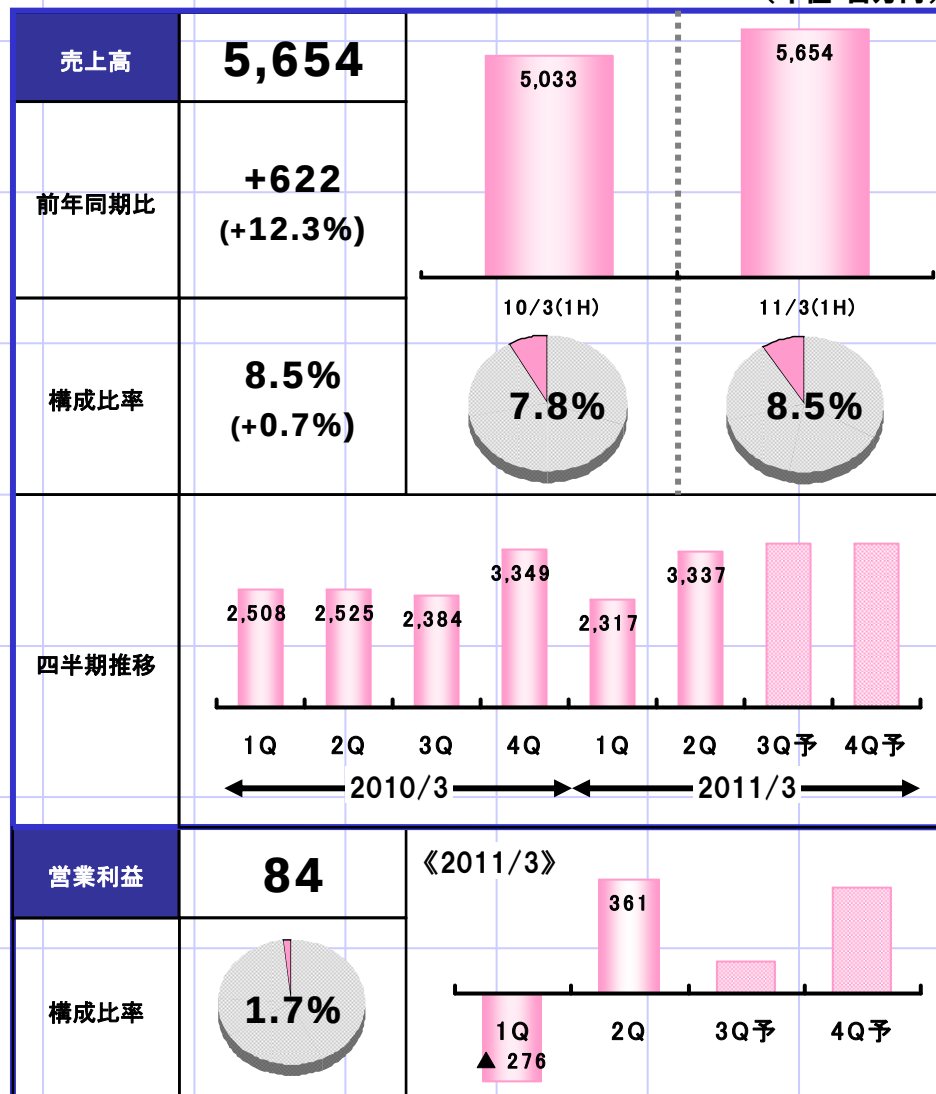
OEM商品である公営競技市場向け紙幣還流ユニットや券売機の販売が好調に推移。

主要製品の状況(前年同期比)



※矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

(単位:百万円)



(単位:百万円)

現地通貨ベース比較

海外 地域別売上高	2010年3月期 第2四半期 累計期間	2011年3月期 第2四半期 累計期間	差異	2010年3月期 第2四半期 累計期間	2011年3月期 第2四半期 累計期間	前年 同期比
米 州	3,845	2,628	▲1,217	25,587千ドル (89.76円/ドル)	25,996千ドル (83.44円/ドル)	+1.5%
内 直 販	2,321	2,166	▲155			
内 OEM	1,524	462	▲1,062			
欧 州	7,230	7,816	+586	33,606千ユーロ (135.15円/ユーロ)	29,668千ユーロ (108.10円/ユーロ)	▲11.7%
内 直 販	4,542	3,207	▲1,335			
内 OEM	2,688	4,609	+1,921			
アジア	1,987	3,042	+1,055	8,099千ドル (89.76円/ドル)	15,518千ドル (83.44円/ドル)	+91.6%
内 直 販	727	1,295	+568			
内 中 国	621	1,145	+524			
内 OEM	639	602	▲37	円ベース +78.1%		
合 計	13,062	13,486	+424	「内 直販」を現地通貨ベースで 換算した場合の比較 ・米州・アジア=9月末時点のレート ・欧州=6月末時点のレート		
内 直 販	8,211	7,813	▲398			
内 OEM	4,851	5,673	+822			

(単位:百万円)

	2010年3月期 第2四半期(累計)	2011年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比	過去5年間の推移
設備投資額	3,280	3,441	+161 +4.9%	3,512 2,556 3,330 3,280 3,441 FY06-1H FY07-1H FY08-1H FY09-1H FY10-1H
減価償却費	3,851	3,180	▲671 ▲17.4%	3,016 3,095 3,408 3,851 3,180 FY06-1H FY07-1H FY08-1H FY09-1H FY10-1H
研究開発 投資額	4,310	4,151	▲159 ▲3.7%	4,499 4,825 4,700 4,310 4,151 FY06-1H FY07-1H FY08-1H FY09-1H FY10-1H

損益計算書

(単位:百万円)

(百万円)	2010年3月期 第2四半期 累計期間	百分比 (%)	2011年3月期 第2四半期 累計期間	百分比 (%)	増 減
売上高	64,139	100.0	66,458	100.0	+2,319
売上原価	41,902	65.3	41,170	61.9	▲732 ①
販管費	19,594	30.5	20,179	30.4	+585
営業利益	2,643	4.1	5,108	7.7	+2,465
営業外収益	1,304	2.0	880	1.3	▲424
営業外費用	180	0.3	474	0.7	+294 ②
経常利益	3,767	5.9	5,515	8.3	+1,748
特別利益	416	0.6	180	0.3	▲236
特別損失	529	0.8	942	1.4	+413 ③
税金等調整前 四半期純利益	3,653	5.7	4,753	7.2	+1,100
法人税等調整額	1,430	2.2	1,818	2.7	+388
四半期純利益	2,223	3.5	2,935	4.4	+712

①売上原価率 :コスト削減活動の成果等により3.4ポイント低減。

②営業外損益 : 為替差損(335百万円)などが発生。(前年同期は営業外収益に保険返戻金(486百万円)を計上)

③特別損失 : 減損損失(356百万円)、退職給付費用(257百万円)、投資有価証券評価損(200百万円)



2010年度

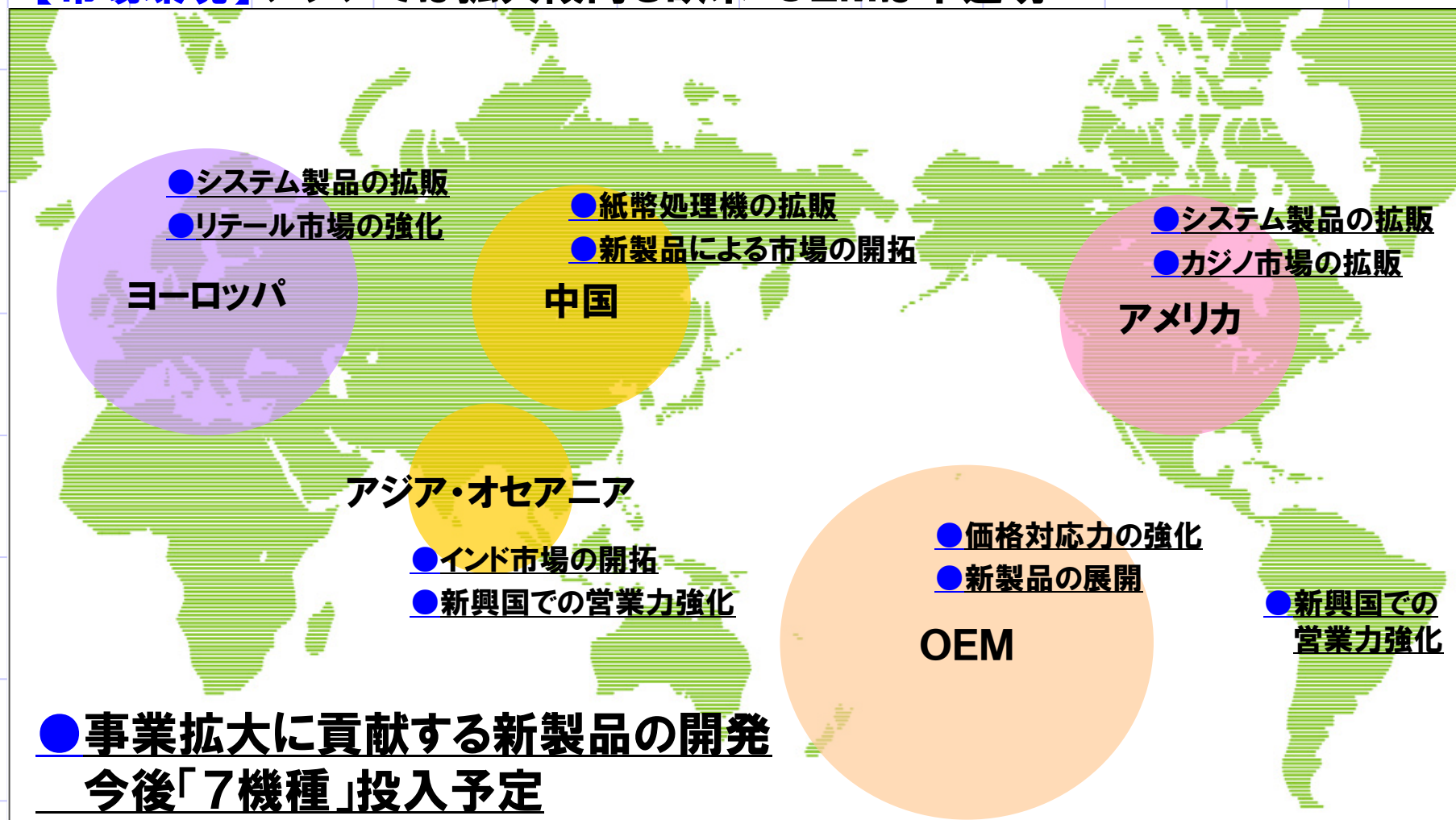
下期の市場環境と施策 について

1)海外市場	…P. 16
2)金融市場	…P. 18
3)流通・交通市	…P. 19
4)遊技市場	…P. 20

海外市場

●海外事業拡大に向けた事業基盤の充実

【市場環境】アジアでは拡大傾向も欧米・OEMは不透明



●海外事業拡大に向けた事業基盤の充実

イタリアの販売代理店を子会社化(2010年10月1日)

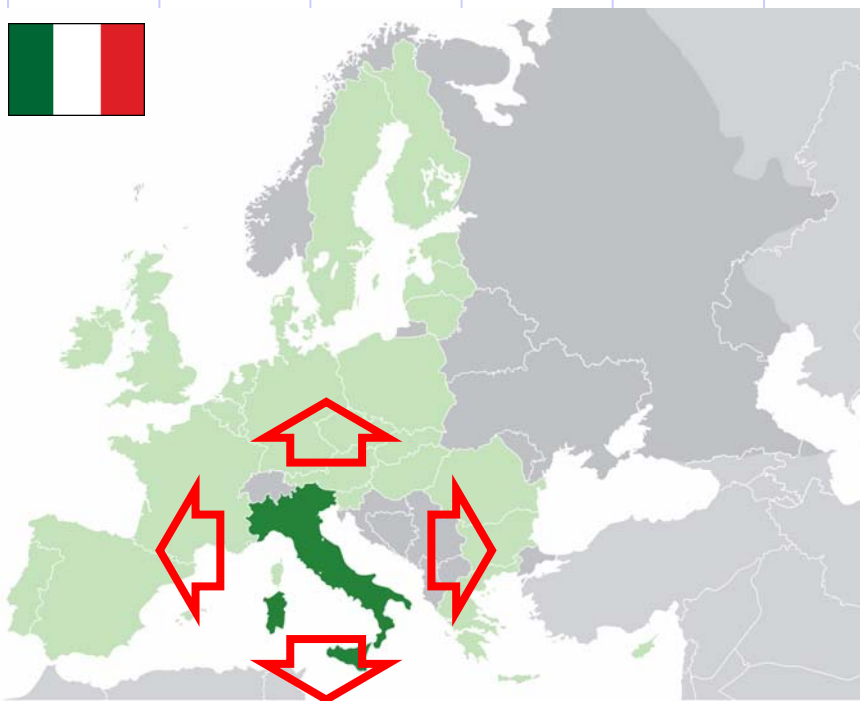
有力代理店の持つ顧客情報・販売ノウハウを活かし、
イタリアだけでなく欧州全域での事業を拡大

Sitrade Italia S.p.A(シトラーデ社)



- 資本金 620千ユーロ
(6,800万円)
- 従業員 約130名
- 設 立 1978年7月
- 拠 点 本社(ミラノ)
支店(ローマなど7支店)
保守(18か所)
- 売上高 4,700万ユーロ(約52億円)
- 営業利益 970万ユーロ(約11億円)

※2009年12月期



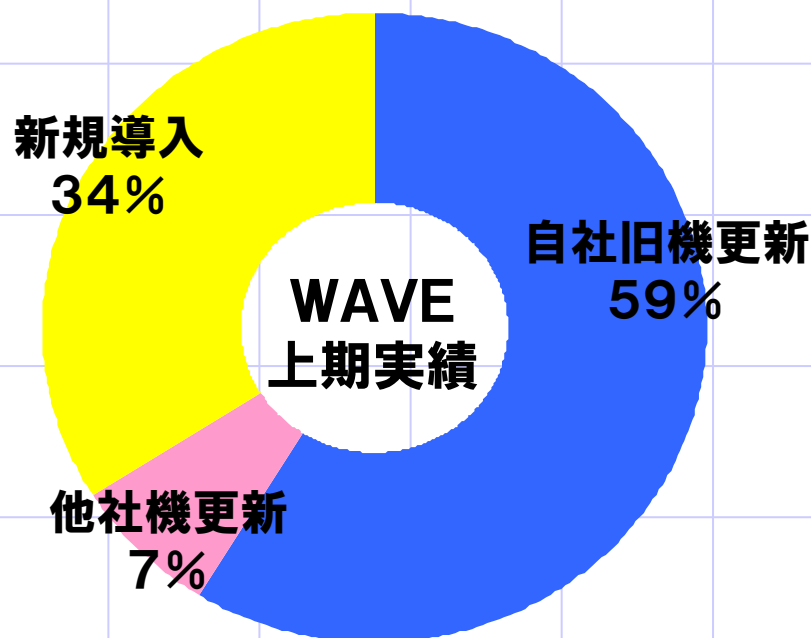
金融市場

●オープン出納システムの販売拡大

【市場環境】設備投資は回復傾向も、金融機関間の収益格差が拡大。
収益が伸び悩む金融機関では投資抑制の傾向も。

●更新促進・・・導入10年超ユーザーへの更新促進

●市場拡大・・・未導入市場に注力し、シェアを拡大



流通・交通市場

●レジつり銭機の未開拓業種への導入推進

【市場環境】設備投資の抑制は続き、新規出店も減少。
不採算店舗の整理、営業時間の短縮などコスト改善策を推進。

●専任組織による実績作り(CVS、飲食、専門店)

コンビニエンス
ストア

・試行促進

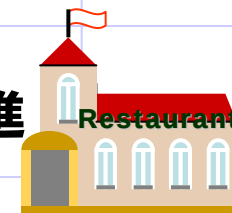
レジつり銭機
RT/RAD200シリーズ



飲食チェーン店

・ファミリーレストラン
・コーヒーショップ

本格導入促進



専門店

・小売メーカーへの本格導入促進



●市場競争力の強化

【市場環境】新店・改装は体力ある大手・中堅に偏り、
中小のホールでは大きな設備投資が難しい状況が続く。

●関連会社2社（グローリーナスカ+クリエイションカード）の合併推進

●新製品・新サービスの開発促進

合併への準備

グローリーナスカと
クリエイションカードの
カードシステムを統合



新製品の発売

カード関連製品、景品関連製品他



サービスの拡充

携帯電話向けWebサービス



3 2011年3月期 業績予想

- 1)2011年3月期 業績予想 …P. 22
- 2)セグメント別売上高 …P. 23
- 3)四半期毎の売上高 …P. 24

2011年3月期 業績予想

売上高 新製品による市場の深掘りが進み、前年同期から増加。

利益 売上高拡大とコストダウン策の推進効果により、前年同期に比べ増加。

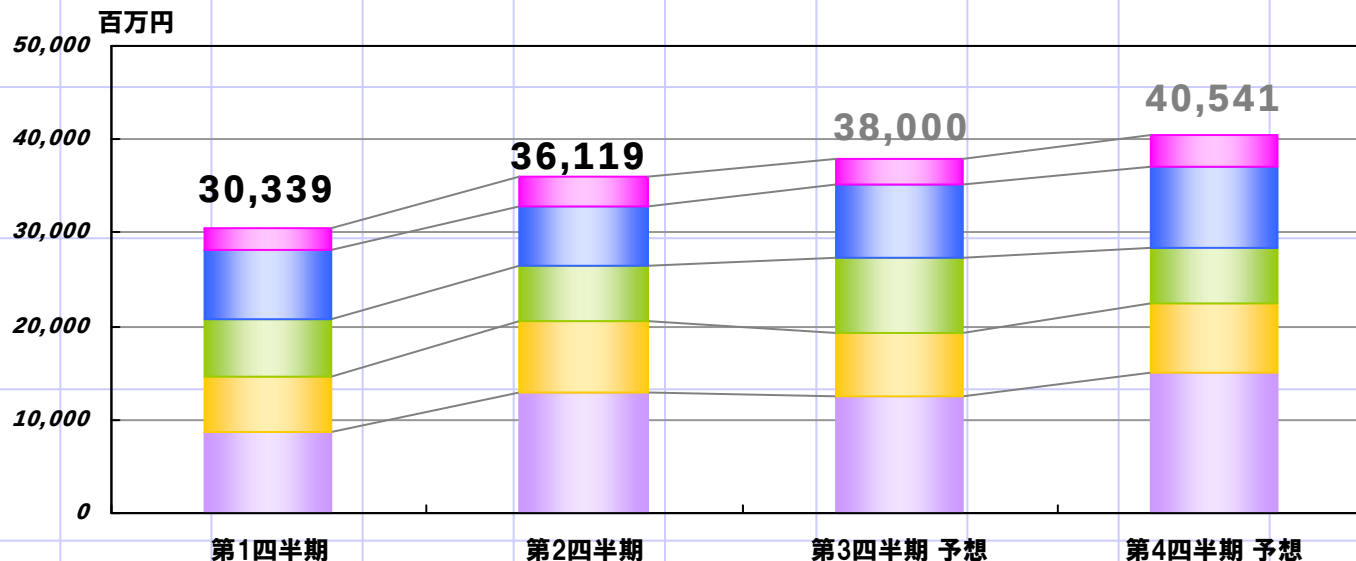
(百万円)	2010年3月期 (平成22年3月期)	2011年3月期 (平成23年3月期)	前年同期比
売上高	135,105	145,000	+7.3%
うち 保守売上高	31,682 (23.4%)	32,000 (22.1%)	+1.0%
営業利益	7,685 (5.7%)	10,000 (6.9%)	+30.1%
経常利益	9,011 (6.7%)	10,000 (6.9%)	+11.0%
当期純利益	5,108 (3.8%)	6,000 (4.1%)	+17.5%

セグメント別売上高・営業利益

(百万円)	2010年3月期 (平成22年3月期)		2011年3月期 予想 (平成23年3月期 予想)		
	売上高	構成比	売上高	前年 同期比	営業利益
金融市場	42,759	31.6%	47,000 ➡ 49,000	+14.6%	4,200
流通・交通市場	26,134	19.3%	28,000 ➡ 28,000	+7.1%	2,200
遊技市場	26,734	19.8%	26,000 ➡ 26,000	▲2.7%	1,300
海外市場	28,712	21.3%	32,000 ➡ 30,000	+4.5%	1,900
その他	10,766	7.9%	12,000 ➡ 12,000	+11.5%	400
内 自動販売機	6,381	4.7%	6,500 ➡ 6,500	+1.9%	0
合 計	135,105	100.0%	145,000 ➡ 145,000	+7.3%	10,000

※左側の数値は2010年8月5日公表値

四半期毎のセグメント別売上高



セグメント		第1四半期	第2四半期	第3四半期 予想	第4四半期 予想	年間 予想
	金融市場	8,634	12,945	12,400	15,020	49,000
	流通・交通市場	6,005	7,566	6,900	7,528	28,000
	遊技市場	6,147	6,019	8,000	5,834	26,000
	海外市場	7,235	6,251	7,900	8,614	30,000
	その他	2,317	3,337	2,800	3,545	12,000
	自動販売機市場	1,097	1,583	1,650	2,169	6,500
合 計		30,339	36,119	38,000	40,541	145,000

4 その他の情報

- 1) 資本政策について ……P. 26
- 2) 円高の影響と対策 ……P. 27

資本政策について

●2011年3月期の配当について

利益配分に関する基本方針

将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。具体的には

「連結自己資本配当率1.5%を下限とし、連結配当性向25%以上を目標とした利益配分を行う」

こととしております。

1株当たりの配当金	中間期末 予想	期末 予想	年間 予想
2011年3月期 (2010年5月11日公表)	17円00銭	17円00銭	34円00銭 (配当性向38.1%)

※自己株式の取得につきましても、資本効率の向上と経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するために、適宜実施してまいりたいと考えております。

(ご参考)

1株当たりの配当金	中間期末 実績	期末 実績	年間 実績
2010年3月期	16円00銭	17円00銭	33円00銭 (配当性向43.4%)

円高の影響と対策

●下期の想定レートと為替感応度について

想定レート



期 初

ドル85円、ユーロ130円

第2四半期以降

ドル85円、ユーロ110円

●為替感応度（下半期への影響）

1円の円高による影響

(参考)想定レートに対する影響試算
決算発表日(11月5日時点)
ドル81円、ユーロ115円

ドル

- ・売上高 10百万円<減少>
- ・営業利益50百万円<増加>

- ・売上高 44百万円<減少>
- ・営業利益196百万円<増加>

ユーロ

- ・売上高 20百万円<減少>
- ・営業利益20百万円<減少>

- ・売上高 120百万円<増加>
- ・営業利益120百万円<増加>

合計

- ・売上高 76百万円<増加>
- ・営業利益316百万円<増加>